



新年のあいさつに訪れた渡会県議⑤と荻原党県市民活動局次長(東海日日新聞社で)

県議選

渡会克明県議と 荻原宏悦氏が抱負

方針は“大衆とともに”

今年春の県議選の豊橋市選挙区から公明党で立候補する荻原宏悦(ひろよし)

党県市民活動局次長が3日、新年のあいさつのため、引退する渡会克明県議とともに東海日日新聞社を訪れ、白井収社長と歓談した。

荻原党県市民活動局次長は「勝負の年。勝つという大きな緊張感を持って新年を迎えた。改元という節目に新しい顔に替わることはわかりやすい」と説明。引退する渡会県議について言及

し、「(県議5期)20年かけて築いた信頼関係は強固で、簡単に引き継げるものではない」とした。しかし、「『大衆とともに』の方針で、多様な意見を伺いながら、自分の名前を浸透させていきたい」と語った。

渡会県議は「党組織も時代も変わり、本人がしっかり活動をしないと票が集まるといふことはない」とし、「厳しいが、しっかり乗り越えることが本人にとって成長となる。頑張るほしい」とエールを送った。